

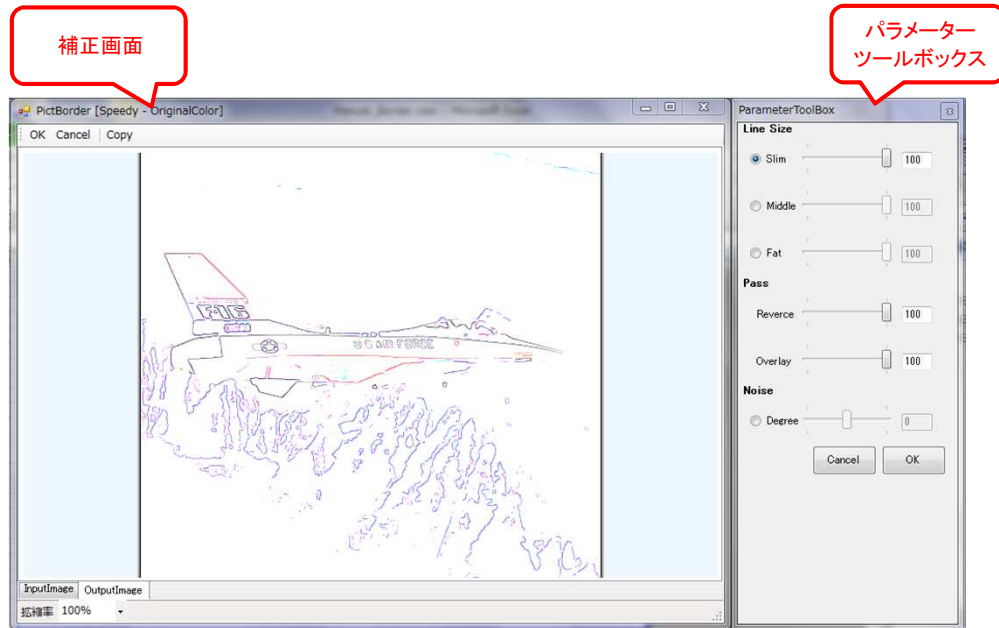
1、特徴

- ・ 色調の変化する境界を、輪郭として抽出します。

2、基本機能

- ・ 輪郭線は、カラー、グレースケール、白黒から選択できます。
- ・ 輪郭線の太さは、細線、中間線、太線に切り替え可能です。
- ・ ノイズフィルターにより、細かい輪郭を抽出、除去が可能です。
- ・ 色調の反転が可能です。
- ・ 処理速度優先か、画質優先かを選択できます。

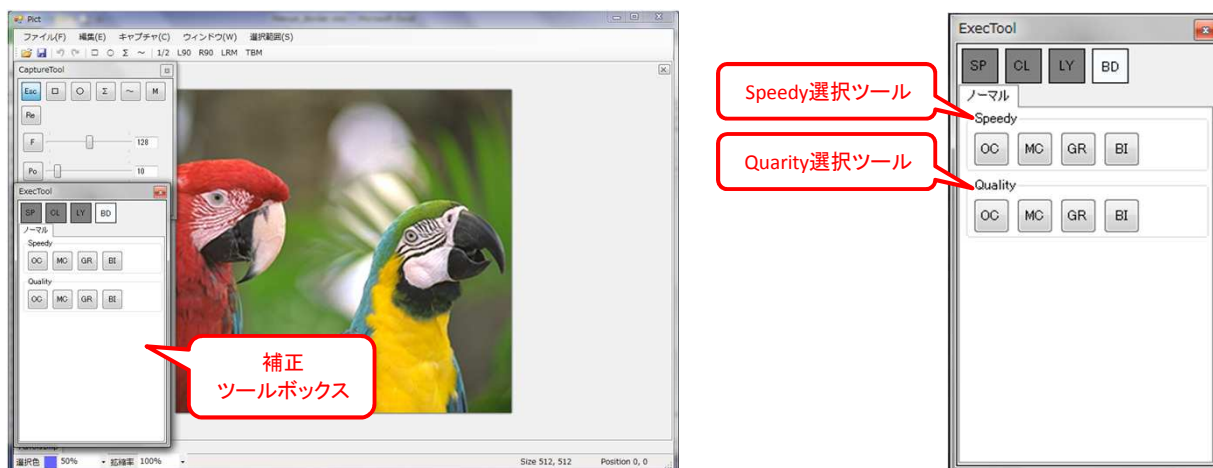
3、画面構成



操作方法

1、画像の引渡し

- ・ Pictから補正画面へ、画像を引渡します(補正ツールボックスを使用します。)



1-1 処理速度優先か、画質優先かを選択します。

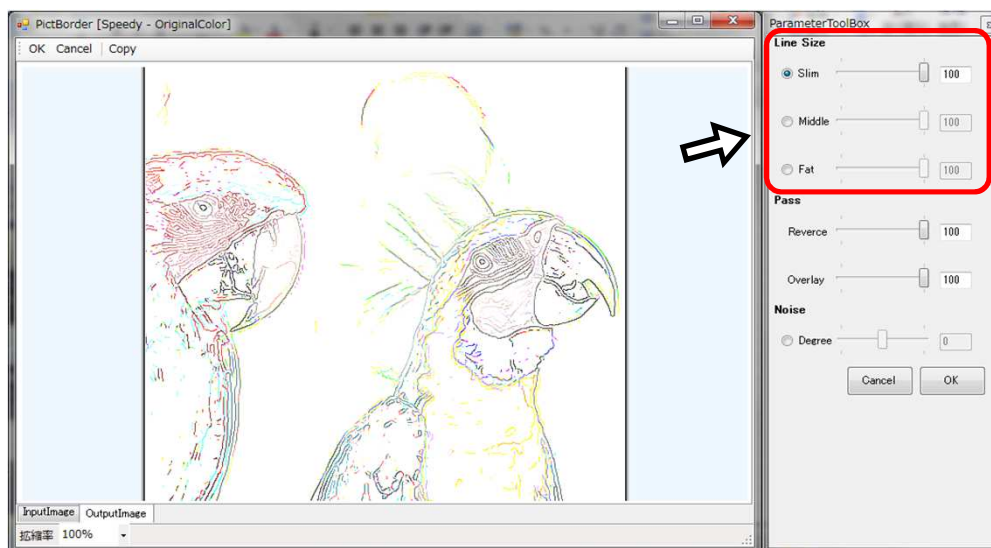
- ・ Speedy・・・処理速度優先の輪郭抽出
- ・ Quality・・・画質優先の輪郭抽出

1-2 抽出する輪郭の色を選択します。

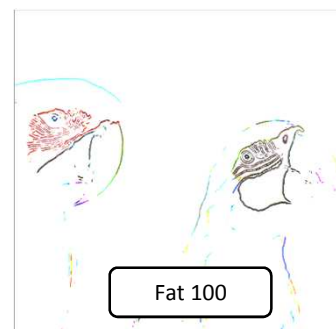
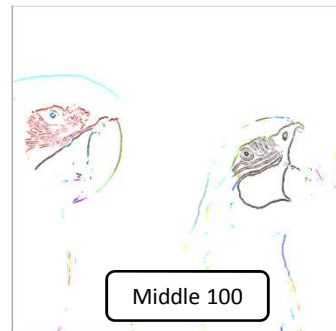
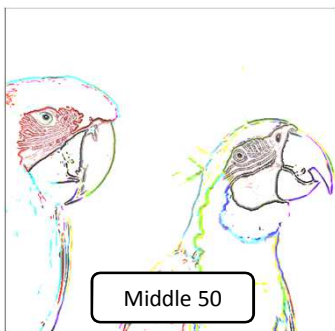
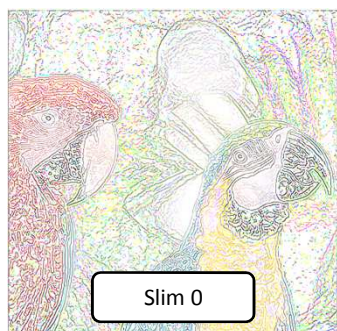
- ・ OC (Original Color)・・・通常のカラーで、輪郭を抽出します。
- ・ MC (Max Color)・・・色の濃淡を0か255にして、輪郭を抽出します。
- ・ GR (Gray Scale Color)・・・グレースケールで、輪郭を抽出します。
- ・ BI (Binary Color)・・・二値化(白黒)で、輪郭を抽出します。

2、輪郭抽出

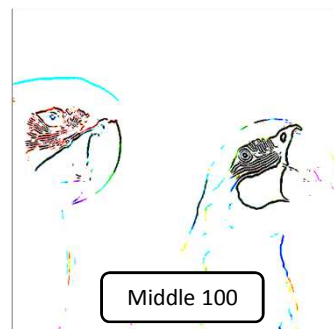
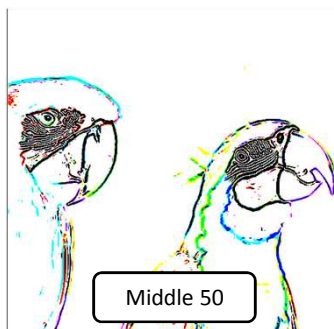
- ・ パラメーターツールボックスの”Line Size”のトラックバーを操作します。(0~100)
 - * 数字が大きいくほど、大きな輪郭を抽出し、数字が小さいほど、細かな輪郭を抽出します。
 - * 輪郭線の太さは、Slim(細線)、Middle(中間線)、Fat(太線)より選択できます。



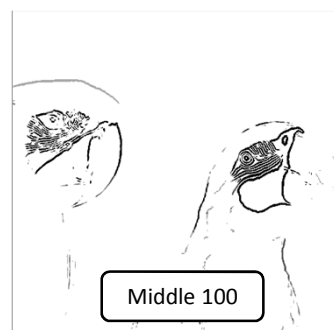
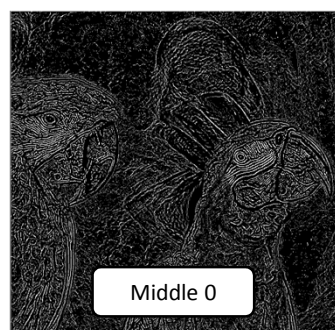
(SpeedyからOCを選択した場合)



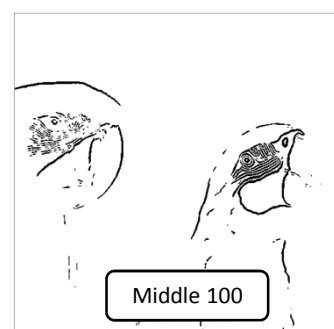
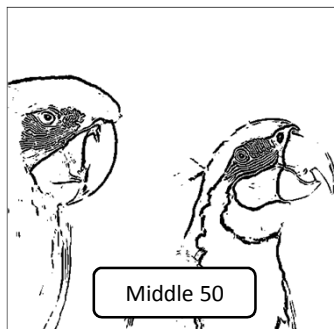
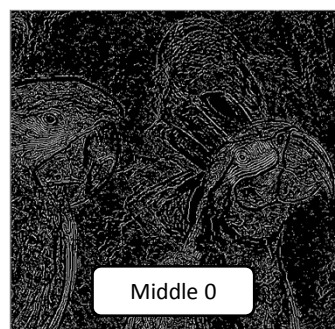
(SpeedyからMCを選択した場合)



(SpeedyからGRを選択した場合)



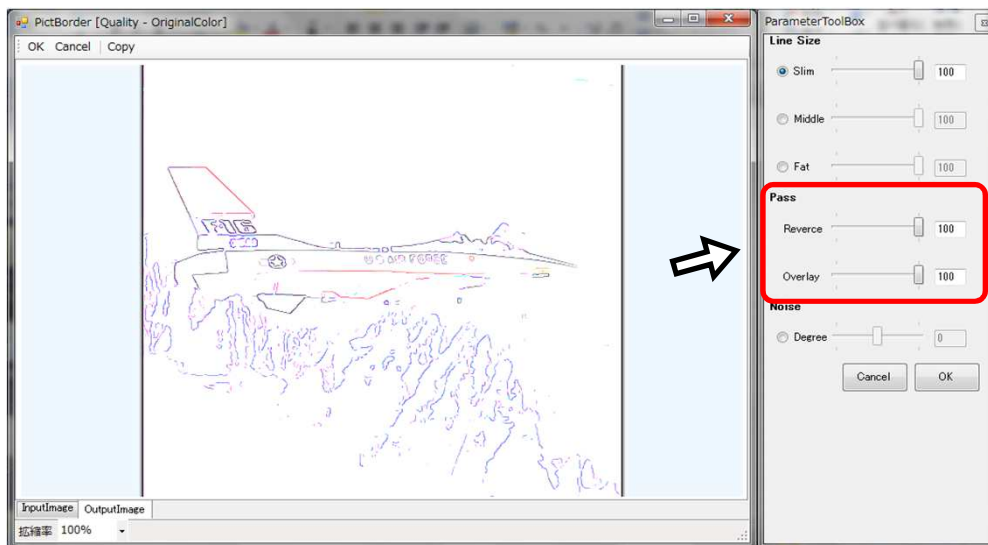
(SpeedyからBIを選択した場合)



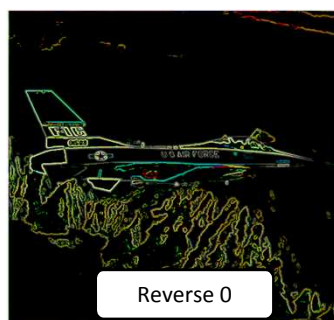
3、反転、補正比率

3-1 反転

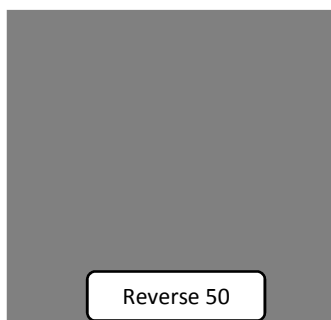
- ・ 色調を反転します。
- ・ パラメーターツールボックスの”Pass”の中から”Reverse”のトラックバーを操作します。(0～100)
 - * 0で100%反転となります。



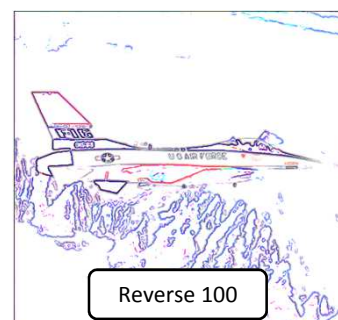
(QualityからOCを選択、Middle 50 の場合)



Reverse 0



Reverse 50

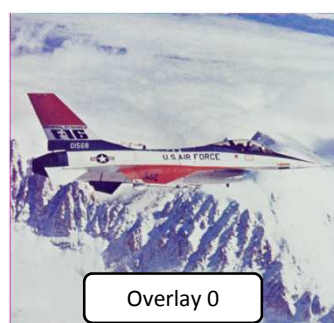


Reverse 100

3-2 補正比率

- ・ 補正の度合いを表示比率で表します。
- ・ パラメーターツールボックスの”Pass”の中から”Overlay”のトラックバーを操作します。(0～100)
 - * 0で元画像となります。

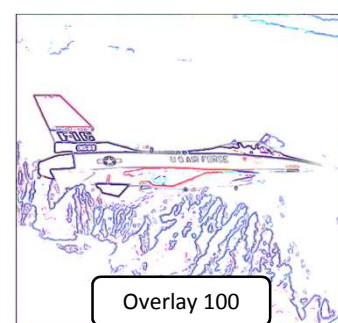
(QualityからOCを選択、Middle 50 の場合)



Overlay 0



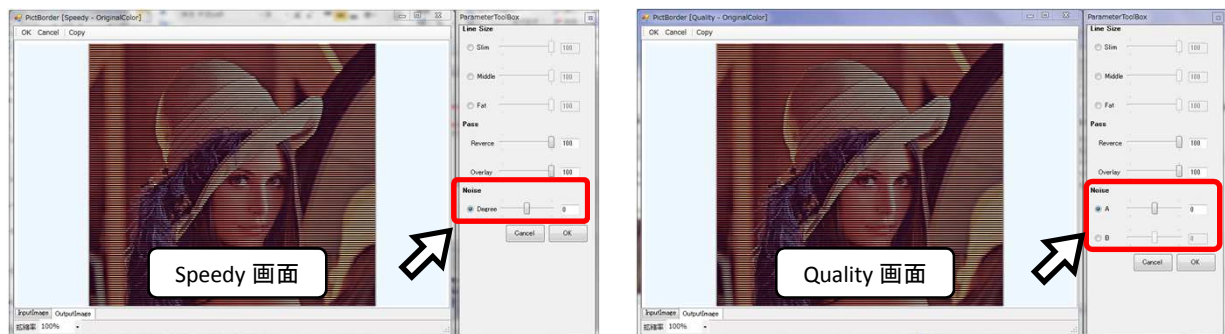
Overlay 50



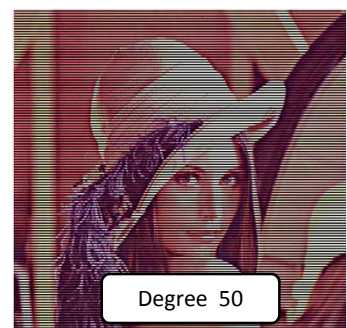
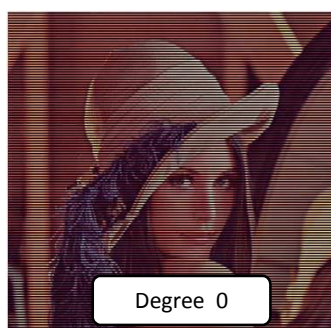
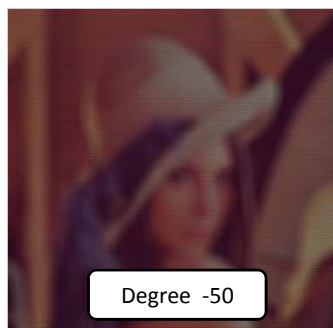
Overlay 100

4、ノイズフィルター

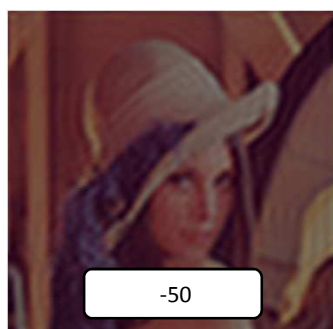
- ・ 画像をぼかす、またはくっきりさせることにより、輪郭線を除去、または抽出します。
- ・ パラメーターツールボックスの”Noise”のトラックバーを操作します。(−50〜50)
 - * 0が元画像となります。
- ・ ”Speedy”選択時は1種、”Quality”選択時では2種のノイズフィルターを選択できます。



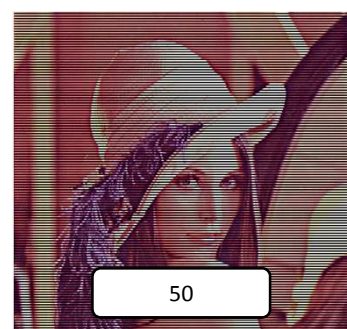
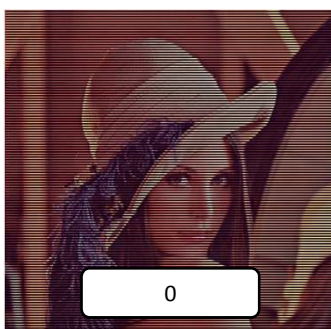
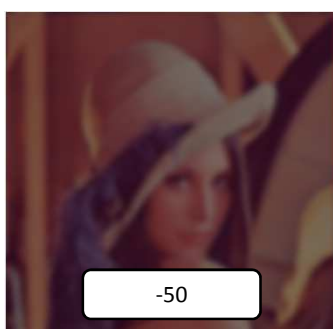
(SpeedyからOCを選択した場合) 全体をぼかします



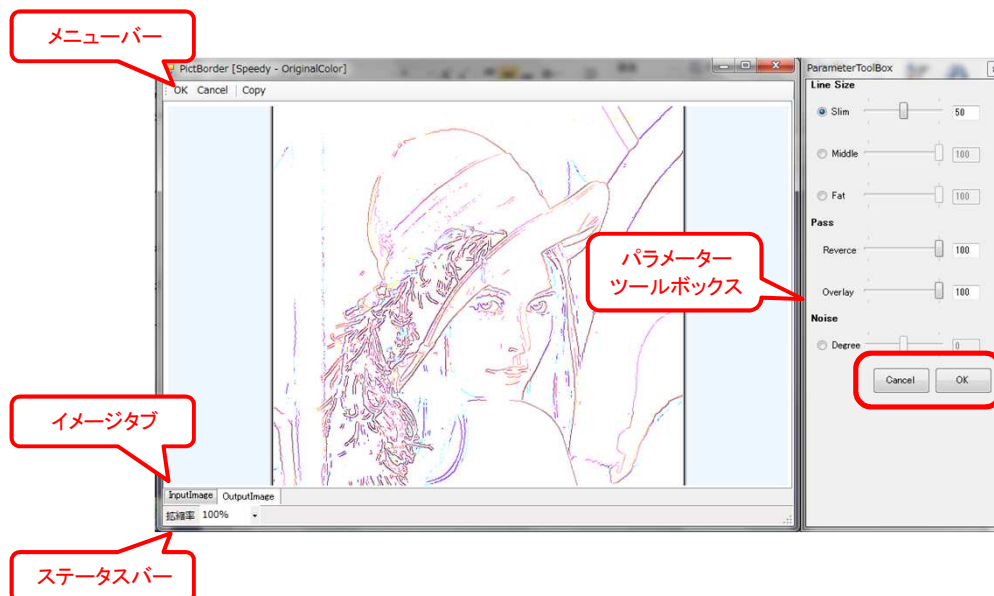
(QualityからOCを選択、NoiseAを選択した場合) 大きな輪郭を残しつつ、細かな輪郭をぼかします。



(QualityからOCを選択、NoiseBを選択した場合) 全体をぼかします



5、補正内容の確認、決定



5-1 イメージタブで元画像と比較します。

- ・ InputImage・・・元画像を表示します。
- ・ OutputImage・・・補正画像を表示します。

5-2 ステータスバーで表示サイズを変更できます。

- ・ 拡大率・・・表示倍率を変更します。

5-3 メニューバー、パラメーターツールボックスで補正内容を決定します。

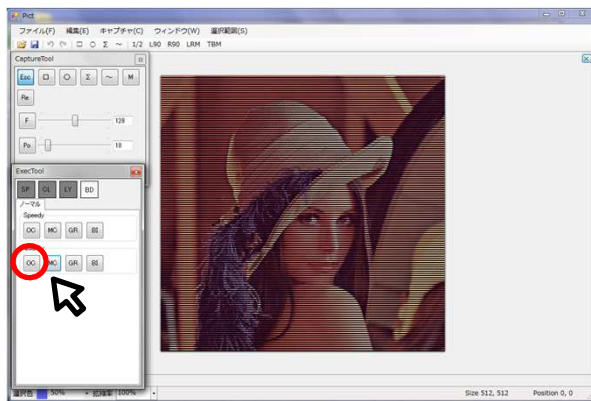
- ・ OK・・・補正内容を確定します。
- ・ Cancel・・・補正内容をキャンセルします。
- ・ Copy・・・表示画像をクリップボードにコピーします。(メニューバーのみ)

6、補正例

- ・ノイズをカットして、輪郭を抽出してみます。

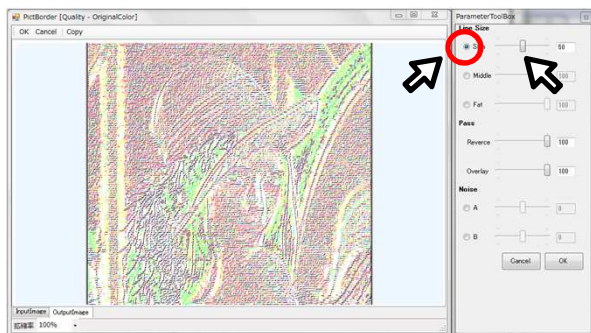


- 1、ボーダーへ画像を引き渡します。



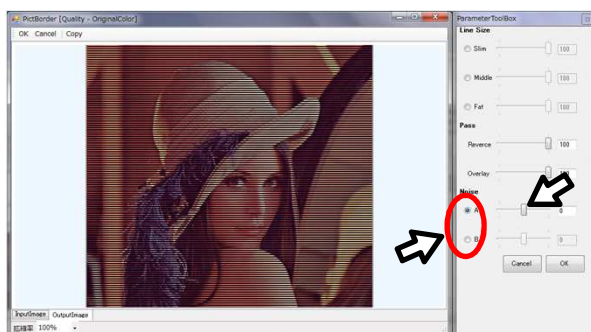
- ・目的に応じて、アイコンを選択します。
 - * QualityからOCを使ってみました。

- 2、輪郭を抽出してみます。



- ① "Line Size"を選び、チェックマークを入れます。
 - * 画面は"Slim"を選択
- ② トラックバーを移動して輪郭を調整します。
 - * 画面は設定値 50

- 3、輪郭の抽出が難しい為、ノイズをカットします。

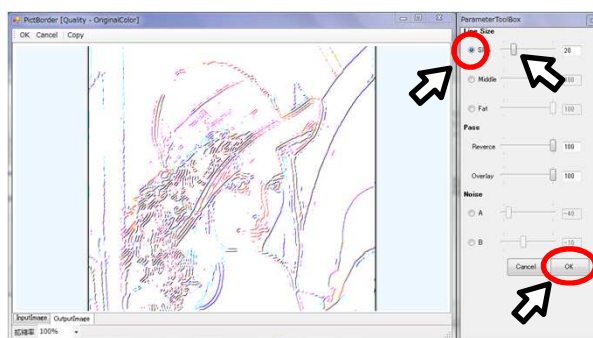


- ① "Noise"の"A"または"B"にチェックマークを入れます。
- ② 横線が消えるまでトラックバーを移動させます。
 - * "A"選択時は設定値-40、"B"選択時は設定値-10で、横線が目立たなくなりました。

(ノイズカット後の画像)



4、再度、輪郭を抽出します。



① "Line Size"を選び、チェックマークを入れます。

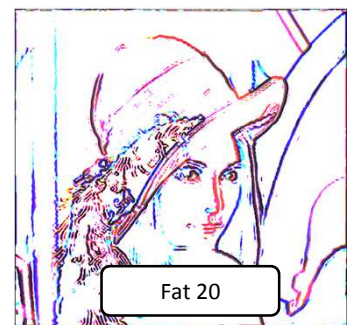
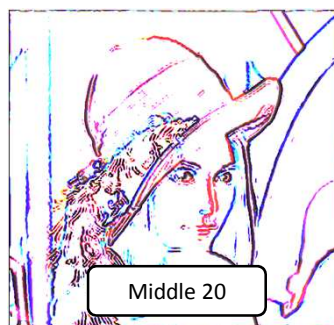
* 画面はNoise"A"、"Slim"を選択

② トラックバーを移動させ、輪郭を調整します。

* 画面は設定値 20

③ "OK"アイコンをクリックして、確定します。

(NoiseAを選択した場合)



(NoiseBを選択した場合)

